

PEM036-P02

会場:コンベンションホール

時間: 5月25日17:15-18:45

下層大気擾乱起源の電離層電流・微小磁場変動

Ionospheric currents and micropulsations caused by the lower atmospheric disturbances

家森 俊彦^{1*}, 平 健登¹, 松村 充¹

Toshihiko Iyemori^{1*}, Kent Taira¹, Mitsuru Matsumura¹

¹京都大学大学院理学研究科

¹Graduate School of Science, Kyoto Univ.

地上あるいは電離層上空で観測される短周期磁場変動の殆どは太陽風と磁気圏プラズマに起因すると考えられてきた。しかし、スマトラ地震の時に観測された長周期地磁気脈動を契機として、地震や火山噴火、台風接近時のみならず、かなり頻繁に、下層大気的气圧変動により励起された重力音波が原因で電離層に電流が流れ、微小な地磁気変動を生成していることが明らかになってきた。発表では、このような現象について地上および衛星磁場観測データをもとに調べた結果を示す。

キーワード: 下層大気擾乱, 電離層電流, 音波共鳴, 磁場変動

Keywords: lower atmospheric disturbance, ionospheric current, acoustic resonance, magnetic variation